

4 豚の皮膚腫瘤

機関名：豊橋市食肉衛生検査所

氏名：佐々木 豊

動物名：豚

品種：雑種

性別：雌

年齢：6ヶ月

病歴：不明

生体所見：一般畜として搬入された。腰部背側の皮膚に楕円形（14×6.5 cm）および円形（2×2 cm）の黒色腫瘤を各1ヶ所認めた。

内臓所見：皮膚腫瘤の断面は黒色充実性で膨隆し、周囲との境界は明瞭であった。

肝臓では、外側右葉臓側面に拇指頭大、外側左葉横隔面に大豆大、方形葉基部に大豆大の黒色結節を各1ヶ所認めた。結節の断面は黒色充実性を呈し、周囲との境界は明瞭であった。

心臓では表面に大豆大、小豆大の黒色斑を各1ヶ所、左腎では皮質に小豆大の黒色斑を1ヶ所認めた。肺では全葉にわたり針頭大から大豆大の黒色斑が密在し、胃では幽門部漿膜面に大豆大の黒色腫瘤を1ヶ所認めた。躯幹筋では、左右大腿部の筋肉内に大豆大の黒色結節を各1ヶ所、腰部筋肉内に小豆大から大豆大の黒色斑が散在していた。また、内腸骨リンパ節、腸骨下リンパ節は著しく腫大し、黒色を呈していた。

組織所見：皮膚腫瘤では、真皮において腫瘍細胞が結合組織と混在し、渦巻状や敷石状に増殖し、一部皮下組織にも浸潤していた。腫瘍細胞は大型で円形から多角形を呈し、細胞内に多量のメラニン色素を有した。核は円形から三日月状など多形性を呈し、大小不同を認めた。

肝臓結節では、皮膚腫瘤と同様の腫瘍細胞が敷石状に増殖し、グリソン鞘を中心に浸潤していた。

固定方法：10%中性緩衝ホルマリン

行政処分：全部廃棄

組織診断名：悪性黒色腫

疾病診断名：全身に転移がみられた悪性黒色腫